

# 学校法人KTC学園 屋久島おおぞら高等学校 学校評価

## 教育目標

- ・センバス教育を通じ、スクーリングの中で、直観力と共感力を磨き、養うプログラムを実施する。

※センバスとは、ラテン語のSENSUS（感覚）VIVUS（生活）からとった造語で「生きる実感」を意味する

## 重点目標

- ・安全に留意し、生命を大切に感じられる環境をつくる
- ・関わる全ての生徒が成長実感を得られるよう、創意工夫し続ける
- ・ホリスティック、グローバルな視点から「つながる、ひろがる」を体現する

## 分野領域

	目標	方策	自己点検評価	評価
学 務 部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務の質向上</li> <li>・業務改善により、業務の円滑化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各担当者への研修、実践から幅広いレベルの向上を図る</li> <li>・システムを利用し、業務の円滑化を図る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内部研修の実施により、担当のレベルアップは徐々にできている。引き続き次年度の課題として取り組んでいく。</li> <li>・システム化の進捗は、業務全体で見ると業務の標準化ができていないところが残った現状である。</li> </ul>	B
教 務 部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観点評価を意識した課題の作成を目指す</li> <li>・生徒の積極性を引き出す特別活動を目指す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に学ぶ姿勢を喚起・継続できるような課題の作成</li> <li>・教科を横断的に学ぶことができるカリキュラムの検討</li> <li>・特別活動内容の見直し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知識技能を問う課題を減らし、思考判断力を養う課題を増やした。また、出題方法がパターン化しないように、教科を超えて相談検討をすることにより、多角的視点からのアプローチができるように採点方法についても工夫を加えることができた。</li> <li>・生徒が主体的に活動できる活動を取り入れることができた。</li> </ul>	B

進路指導部	自身の将来について、主体的に考え、選択することが出来る能力を育成する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オンラインツールを利用した将来について考えるキッカケとなる教育活動の充実を目指す</li> <li>・進路に向けた情報発信の内容・手段の充実を目指す</li> </ul>	<p>学外講師によるオンライン授業を実施するなどの工夫を行い、なりたい大人について考える機会につながっていた。</p> <p>情報発信の手段として、新たなツールを運用できた。</p>	B
生徒指導部	安全で安心できる学校生活の環境を整える	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な生活習慣の確立</li> <li>・規範意識に基づいた行動様式の獲得</li> <li>・生徒と教員の関係構築</li> <li>・問題行動に対する未然防止</li> </ul>	<p>生徒との関係構築から生活習慣の確立につなげることができた。</p> <p>SNSによる問題行動の未然防止が今後の課題である。</p>	B
保健部	保健管理と衛生管理の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・養護体制の環境づくり、スキルを高められるように研修を行う</li> <li>・感染症対策の周知徹底</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・養護体制は確立できた。研修等のケーススタディーは今後の取り組み事項となる。</li> <li>・コロナの対応策を中心としてマニュアルのアップデートや備品設置をすすめることができた。</li> </ul>	B
学寮部	安全な生活の確保	安心、安全なスクーリングを運営するための施設管理及び危機管理に関する研修を行う	有事でも臨機応変に対応できた。日頃の研修が行動に反映された。	B
事務部	業務、必要書類の見える化とデータ化を図る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務一覧やマニュアルの作成、定期メンテナンスをする</li> <li>・業務の流れ、手順を明確にする</li> </ul>	データ化を行い、事務室内で共有を行った。見える化を図ることで、業務の流れや手順が把握しやすくなった。	A